



初めて知った郷土の歴史に感動



公民館内牧分館（高宮晴夫分館長）の活動として「第2回歴史探訪・ウォーキング」が、11月8日行われました。今回は、通称鍋釣線の西小園から西湯浦までの5.3kmのコース、15ヶ所の史跡・神社仏閣・古木などを巡る探訪で、この機会にぜひ、地元の歴史を知ろうと60人が参加されました。地元をよく知る4人が案内人をつとめ、地域色豊かな説明に参加者は、「先人が残した遺産のすばらしさを知り、誇りに思った」「山里の自然・紅葉がすばらしかった」「地域の宝や魅力を知らずに終わるはずだった」など、この企画に大変感動され、次回の開催を望まれました。

11月14日、道の駅・波野「神楽苑」で18回目となる阿蘇高原新そばまつりがあり、特産波野そばを味わおうと約1千人の来場客で賑わいました。「そばいなり」や「そばぜんざい」など新そばを使った料理が一品100円で食べられるコーナーも行列ができる盛況で、来場した人たちは様々なそば料理に舌鼓を打ちながら、横堀岩戸神楽保存会による神楽公演やそば手打ちの実演を楽しみました。

このイベントは阿蘇波野高原そばの里づくり推進協議会が、波野高原で採れた新そばを多くの人たちに味わってもらい、「波野高原そば」としてのブランドを確立させることを目的として行われています。

大人気の「そばいなり」「そばコロッケ」▶

新そばに舌鼓を打ちながら！



高齢者にたすき(反射材)配布



交通安全母の会阿蘇支部（西岡ヤス子会長）では、高齢者交通安全意識啓発事業として11月18日、竹原地区の高齢者世帯を訪問。身体用、靴用の反射材・啓発リフレット・マイバックなどを配り、年末多くなる交通事故や犯罪に巻き込まれないよう声をかけ、高齢者と顔を合わせた啓発活動を行いました。

自分の命は自分で守ろう

たすき(反射材)かけて登下校



一の宮中学校（工藤重行校長・269名）では、命を自分で守る意識を持ってもらおうと、たすき（反射材）着用での登下校を6月から実施しています。ドライバーの皆さんも夕刻から周囲が見えにくいですので運転に注意しましょう。